

新型コロナウイルス感染防止の本学の方針

2020年4月14日 瀧口義浩

コロナ感染は、**飛沫・エアロゾル、接触**により発生します。そこで、これらの現象に対して対応することで、感染を防ぎます。

- (1) 飛沫はマスクなどが無い場合には、2 m以上飛ぶと観測されております。よって、**マスク着用と2 m程度の距離**を開ける S o c i a l D i s t a n c e を用います。
- (2) エアロゾルは、呼吸によって発生し、大気中に浮遊するものです。よって、**換気を極力行う**ことで、対応可能です。
- (3) 接触感染を防ぐには、**触らない**ことが最初の方策です。「ものを可能な限り共有しない」こと、共用の場では「ものにできるだけ触らない」ようにしてください。共用の必要性があるものは、アルコールなどで除菌をしてから共有してください。
- (4) 昼食等食事の際は複数名で対面することや発語・会話を避け、個室で食事するなどの対応をしてください。

これらの基本のもとに、**近接して人と直接話さないようにしてください**。メール、テレビ会議、LINE などを活用してください。

常勤教員：隔離された各個室が与えられておりますので、**従来通りの勤務**とします。

特任及び客員教員：担当の教員と協議をして、5月6日までは自宅待機などを検討ください。その間につきましては年次有給休暇の取扱いとなります。或いは年間の所定労働日数の中で調整してください。

職員：事務室が密室状態になっているので、交代制勤務などの方策を検討ください。

共同研究員：5月の連休明けまで、基本的に来学をご遠慮ください。危急の必要がある場合でも一度ご検討ください。また、共同研究員の所属する各企業の指示や方針に従ってください。